

令和 2 年（2020年）表 産業連関技術 会議における主な検討課題等

令和 3 年 3 月 15 日
産業連関技術会議

総務省政策統括官付
統計審査官室（産業連関表担当）

1 令和2年表における主な課題

令和2年産業連関表における主な課題として、大きく以下の4つの事項を想定

- ① SUT体系への移行に向けた取り組み
- ② 精度向上に関する取組
- ③ 参考表に関する取組
- ④ 事業の内容の見直し（公表形態の変更など）

1 令和2年表における主な課題

①SUT体系への移行に向けた取り組み

- 令和2年表においては、平成27年表産業連関技術会議において議論いただいたとおり、以下の手順で推計
 - ✓全部門を対象とした供給表（S表）とサービス分野の産業を対象とした使用表（U表）を推計
 - ✓サービス分野の産業を対象としたU表の推計を介し、同産業を対象とした取引基本表（X表）を推計。それ以外の産業を対象としたX表は今までどおり推計
 - ✓こうして作られたS表とX表を用いて、数学的仮定（商品技術仮定）の下、全産業を対象としたU表を推計
- 現在、委託研究により、平成27年を対象にして試算作業を実施中

1 令和2年表における主な課題

②精度向上に関する取組

- 経済構造をより正確に反映するための部門設定の検討
 - ✓サービス部門の生産物分類に対応に対応した部門設定
 - ✓電力の小売自由化を受けた電力部門の再編
 - ✓ICT部門の成長を踏まえた情報サービス業の再編 等
- サービス産業・非営利団体等調査の改善
 - ✓標本サイズをほぼ倍増（約1万3千）、産業ごとに別途のヒアリングを実施

※併せて、令和2年を対象とすることから、新型コロナウイルスに伴う経済活動の変化を適切に反映した推計を行う必要

- ✓生産額の減少やそれに伴う投入構造の大きな変化、（産出先部門の生産額の減少に伴う）産出構造の大きな変化などがある部門の発生が想定される

1 令和2年表における主な課題

③参考表に関する取組

平成27年表においては、基本価格表示、本社マトリックス、自社開発ソフトウェア、特許等サービスにかかる4つの参考表を推計した。

これらの参考表について、令和2年表では以下のように取り組んではどうか。

●基本価格表示

- ✓関連する間接税部門（うち消費税部分）の推計を、基本価格表示表と整合する形で行うことで、基本価格表示に関する作業を前倒しし、その結果をもって公表形態を決定する。

●上記以外

- ✓本格的な改善は令和7年表以降に行うこととし、令和2年表においては平成27年表と同様の対応とする。

1 令和2年表における主な課題

④事業の内容の見直し（公表形態の変更など）

●部門の統廃合等の検討

- ✓サービス部門の生産物分類への対応、電力や情報サービスの再編により増加することが想定される部門数について、既存の部門の統廃合を検討する必要。

●付帯表等の作成の在り方の検討

- ✓推計作業の複雑化、公表する表の増加を受け、付帯表や参考表の再編を検討する必要はないか（ex.物量表など）。

●公表の在り方の検討

- ✓平成27年表のような確報値をいきなり出す方法が良いのか、接続表の在り方も含めて検討する必要はないか。（ex.接続表の公表と併せて確報値を改定するなど）

2 今後の進め方

- ◆令和4年度第1四半期までの基本要綱の策定に向け、1に掲げた課題のうち、基本要綱の策定時までの方針を決めなければならない技術的事項について、産業連関幹事会の検討状況を報告し、御議論いただく予定。
- ◆第1回（本日）においては、1に掲げた課題について、今後の検討に当たり重点課題を挙げていただくなど、総論的な御議論をいただくとともに、①、②、③の一部（サービスSUT、サービス産業・非営利団体等調査、基本価格等）をご議論いただく予定。

《今後のスケジュール（予定）》

本日	総論的なご議論等
R3年度	個別課題についてご議論 （複数回開催）
R4年度（～6月ごろ）	基本要綱策定等に向けて重点課題を含む課題を御議論